

明和ニュース(案)

(NO. 7)

発行：希望に満ちた明和を創る会 2025年3月 日

明和小・中一貫校化アンケート結果の報告 パート2

あけましておめでとうございます。皆様にとって幸多き一年になりますようお祈りいたします。

昨年、希望に満ちた明和を創る会（以下：創る会）は、8月と11月の2回標記のアンケートを実施しました。1回目のアンケートの【結果・考察】については、「NO.6」で報告しました。そして、今「NO.7」号では、2回目の【結果・考察】と2回分の結果を報告します。

2回目（11月実施）のアンケート結果（総数 96件）

質問1 あなたのことを教えてください。

【結果】 乳幼児の保護者 18件（19%） 小・中学生の保護者 24件（25%）
地域住民 52件（54%） その他 2件（2%） 無回答 0件

【考察】 現在子どもさんが小・中学校に通っている、または今後通う予定の保護者のみなさんからの「回答」多かった。

【対応】 保護者の48%が反対、21%が賛成、そして25%が分からぬという回答だった。今後も、情報発信と意見集約を継続する。

質問2 一貫校化のこれまでの動きや今後のことについて知らされていますか？

【結果】 知らされている 29件（29%） 知らされていない 66件（69%）
無回答 1件（2%）

【考察】 今回も半数以上の方々が、「知らされていない」と回答している。子どもたちや保護者、地域住民に十分な説明がなされていないことが分かった。

【対応】 まちづくり協議会には今後も「説明責任」を果たすように求めながら、市教委には説明会の開催と意見集約を求める。

質問3 一貫校化について、あなたの考え方や意見を述べる場がありましたか？

【結果】 あった 14件（15%） なかった 82件（85%） 無回答 0件

【考察】 「説明がないのが1番の問題」「明和町民の総意なら反対しない」等の意見に集約されるように、住民への説明や合意形成の不十分さが分かった。

【対応】 文科省も市教委も「統廃合には、住民の合意形成が不可欠」としている。まちづくり協議会や市教委に、子どもや保護者、住民との協議の開催を求める。

質問4 一貫校化について、あなたの考え方を聞かせてください。

【結果】 反対 48件（50%） 賛成 14件（14%） 説明を求める等 18件（19%）
その他 12件（13%） 無回答 4件（4%）

【考察】 一貫校化に反対する意見には、「小学生の委縮」「年齢差から生じる人間関係」など、子どもの発達段階の違いを心配する声があった。また、子どもたちは増えているという意見や、県住等の建て替えなど、今ある資源を生かした魅力あるまちづくりの必要性を求める意見も多かった。

一方、賛成意見に多かったのが、「中学校を残すため」が多く、「このままでは学校がなくなる」ということを前提とした意見だった。また、「時代の流れ」「空いたスペースの活用」などの意見も出された。

子どもの育ちや教育環境の観点から、何がより良い選択かを考える必要がある。

2回分の（1回目+2回目）の結果（総数 354件）

2回のアンケートに対して、総数354人の方々からご協力いただきました。公私ともにお忙しい中、ありがとうございました。2回分のアンケート結果を報告します。

質問1 あなたのことを教えてください。

【結果】 乳幼児の保護者 38件（11%） 小・中学生の保護者 61件（17%）
地域住民 231件（64%） その他 23件（7%） 無回答 1件（1%）

質問2 一貫校化のこれまでの動きや今後のことについて知らされていますか？

【結果】 知らされている 95件（27%） 知らされていない 257件（72%）
無回答 2件（1%）

【考察】 小学校と中学校が統合されるという、これまでにない教育環境の変化であるにも関わらず、7割を越える方々が「経緯や今後のことについて知らない」との回答だった。地域の学校の将来が、子どもたちや保護者、地域住民に十分な説明がなされないまま進められようとしていることに、多くの方々が不信と不安を覚えている。

質問3 一貫校化について、あなたの考え方や意見を述べる場がありましたか？

【結果】 あった 45件（13%） なかった 306件（86%）
無回答 3件（1%）

【考察】 文科省も市教委も「統廃合には、住民の合意形成が不可欠」としている。しかしアンケート結果をみると、9割近くの方々が「合意形成の場がなかった」と回答している。アンケートの自由記述欄には、10割近い方々が「一貫校化に対するさまざまな意見」を書いていた。一旦、一貫校化の動きを止めて、子ども・保護者・住民との協議の場をつくり、住民の合意形成からやり直すべきである。

質問4 一貫校化について、あなたの考え方を聞かせてください。

【結果】 反対 168件（48%） 賛成 51件（15%） 説明を求める等 64件（19%）
その他 54件（16%） 無回答 7件（2%）

【総括】 「つくる会」が実施した2回のアンケートの結果、住民の中に、「一貫校化に賛成する意見」「反対する意見」そして「説明がなく判断できない」など、様々な考えがあることが分かった。住民の考えが千差万別のまま「一貫校化」が進めると、今後の教育活動に支障が生じることは想像に易い。

このような現状は、文科省や市教委の「統廃合には、住民の合意形成が不可欠」という考えに反している。私たち「創る会」は、「まち協」や市教委に対して、「住民の合意形成」に向けた取り組みを求めていく必要がある。

今後もアンケートを受け付けます。

明和校区の教育環境を大きく変える「明和小・中学校の『一貫校化』」は、当事者の子どもたちはもちろん、保護者や地域住民の「合意形成」がなされないままに進められようとしています。この動きを止め住民の「合意形成」からスタートさせる「力」は、みなさんの声しかありません。紙によるアンケートは、従来の通り所定のポストに投函してください。右に掲載したQRコードを使っての回答も継続します。ご協力をお願いします。

